

平成25年度 事業報告書の概要

1. 法人の概要

○法人名

八商学園

○設置する学校・学部・学科等

(1) 中九州短期大学

A 経営福祉学科

① 情報・ビジネスコース

② 介護福祉士コース

B 幼児保育学科

① 保育総合コース

② こども心理コース

(2) 秀岳館高等学校

A 普通科

① 特進コース

② 進学コース

③ 保健福祉コース

④ 総合コース

B 商業科

① 情報ビジネスコース

② トータルデザインコース

C 建設工業科

① テクニカルコース

② クラフトコース

○学部・学科等の入学定員・学生数の状況

(1) 中九州短期大学

学科	入学定員	収容定員	在籍数 (平成25年5月1日現在)	在籍数 (平成26年5月1日現在)
経営福祉	50 人	100 人	100 人	96 人
幼児保育	80	160	154	156
計	130	260	254	252

(2) 秀岳館高等学校

学科	入学定員	収容定員	在籍数 (平成25年5月1日現在)	在籍数 (平成26年5月1日現在)
普通	240 人	720 人	961 人	926 人
商業	60	180	142	156
建設工業	100	300	110	122
計	400	1,200	1,213	1,204

総在籍数	1,467 人	1,456 人
------	---------	---------

○役員・教職員の概要（平成25年5月1日現在）

(1)役 員（理事・監事）

役 員 数							
理事	選 任 区 分	定数	現員	監事	選 任 区 分	定数	現員
	寄附行為第6条 第1項第1号・2号	1	1		寄附行為第7条第1項	2	2
	3号	2～3	3				
	4号	2～4	3				
	計	5～8	7		計	2	2

(2)評 議 員

評 議 員 数		
選 任 区 分	定数	現員
寄附行為第21条第1項第1号	5～7	5
2号	2～4	2
3号・4	1	1
5号	7～10	9
計	15～22	17

(3)教 員

中九州短期大学

区分	専 任					兼任	計
	教授	准教授	講師	助教	計		
経営福祉学科	3	1	1	2	7	10	17
幼児保育学科	4	4	4	1	13	13	26
計	7	5	5	3	20	23	43

秀岳館高等学校

専 任						兼任	計
校長	副校長	教頭	教諭	講師	計		
1	1	1	16	47	66	6	72

(4)職 員

	常勤職員	非常勤職員	合 計
中九州短期大学	9	1	10
秀岳館高等学校	7	16	23
合 計	16	17	33

2. 事業の概要

・「Nakagawaふれ愛アリーナ」建設

秀岳館高等学校創立90周年・中九州短期大学創立40周年記念事業の一環として「Nakagawaふれ愛アリーナ」を建設しました。

延べ床面積3,349.75㎡あり、バレーコート4面、バドミントンコート16面など利用できます。LED照明を設置し、移動式観覧席320席(80席の4基)を備え、床には地熱空気循環型装置と空調設備(ステージに)を整備しています。

短大は隣接しているため、体育の授業及び各行事に利用できます。高校生は、部活動の練習を既存の体育館使用の時間を割振りしながら使用していました。それぞれにおいて利用できるため、各部活とも十分な練習が可能となりました。

○中九州短期大学

教育環境の充実

- ・教室の黒板をホワイトボード改修し、明るい教育環境の充実を図りました。
- ・学習支援室の整備を行い、学習支援の強化を図りました。
- ・学生用のロッカーも入替を行いました。

建物の補修等

- ・建物の老朽化もあり、屋上の防水工事及び外壁防水工事等も行いました。

女子寮の整備

- ・女子寮:部屋の改修工事を行いました。(2年計画)

その他

- ・windowsXPのサポート終了により、パソコン・サーバー等の入れ替えを行いました。

2. 事業の概要

(1) 当該年度の事業の概要

平成25年度事業報告書

月	日	摘 要	月	日	摘 要
4	1	始業	6	15	保護者会研修旅行(6/16まで)
		現預金監査(公認会計士)		17	教育実習(幼2年7/4迄)
	2	消防設備点検		29	熊本県私立大学協会ホウリング大会
	4	1年生オリエンテーション(午前)	7	2	熊本国府高校ガイダンス
		2年生オリエンテーション(午後)		4	慶誠高校進学個別相談会
		X線撮影		6	七夕祭り・オープンキャンパス
	5	入学式(10:30AM開式・八代ハーモニーホール)		7	コンソーシアム熊本、進学ガイダンス
		幼保79名・経福41名・計120名入学		8	特別講座「薬物濫用防止講座」
	8	前期講義開始		10	菊池地区進学ガイダンス
	8	熊本県私立大学協会引継ぎ(平成音楽大学)		11	八代地区進学ガイダンス
	10	X線撮影、尿検査		12	松橋地区進学ガイダンス
	17	保護者会会計監査・役員会(6:00PM本学にて)		13	起工式(総合体育館建設)
		八代地区進学ガイダンス		16	誠修高校進学ガイダンス
	18	人吉地区進学ガイダンス		17	多良木高校進学ガイダンス
	20	保護者会総会・新旧役員会		25	介護実習ⅡB事前実習説明会
	22	内科検診		26	介護実習Ⅰa事前実習説明会
	23	熊本地区進学ガイダンス		27	オープンキャンパス
	24	全学学外研修		31	前期講義終了
	26	内科検診	8	1	前期定期試験(8/3迄)
	27	同窓会総会		2	飯野高校進学ガイダンス
5	1	内科検診		3	くま川祭り参加
	9	特待生辞令交付		6	全国私立短大体育大会 ソフトテニス優勝
	10	八代地区進学相談会		8	成績発表
	11	創立記念日		9	追・再試験(8/10迄)
	19	簿記特別講座開始		12	夏期休暇(9/16迄)
	20	平成24年度会計監査(23日迄)		19	税理事務実習(K2、8/31迄)
	23	献血		19	介護実習ⅠA(経介護1年、8/29迄)
	24	平成24年度内部監査			介護実習ⅡB(経介護2年、9/10迄)
	29	新入生歓迎スポーツ大会		21	オープンキャンパス
		学園理事会・評議員会(八代ロイヤルホテルにて)		24	AO入試(1回目)
6	30	幼稚園実習説明会		26	保育実習Ⅱ・Ⅲ(保育所・施設幼2、9/7迄)
	1	介護技術講習会開始	9		消防設備点検
	4	熊本県私立大学協議会(熊本)		9	保護者会教育進路面談週間(9/14迄)
	4	天草地区進学相談会		14	保護者会役員会
	5	八代地区進学ガイダンス		17	後期講義開始
	7	くま川会総会		18	阿蘇地区進学ガイダンス
	9	日商簿記検定		21	オープンキャンパス
	12	熊本地区進学ガイダンス		26	くま川会役員会
	19	熊本中央高校進学ガイダンス		28	AO入試(2回目)
	21	熊本県私立大学協会事務局長会議		30	前期卒業証書授与式

月	日	摘 要	月	日	摘 要
10	3	カンボジア留学生4名受入	1	29	介護実習 I b実習説明会
	4	世界エイサー大会出場(那覇市:10/7迄)			成績発表(幼1年・経1年、経情報2年)
	24	会計監査		30	追・再試験(経1年、経情報2年、幼1年～2/2日迄)
	27	ざぼん祭(28日迄)		31	自己点検評価委員会
	30	介護実習 I B事前説明会	2	3	保育実習 I (幼1年2/17日迄)
11	7	「おさかな教室」(幼保2年、不知火漁協)		4 一次試験・社会人入試選考	
	9 一次推薦・指定校・社会人・奨学生 選考			5	後期講義終了(経介護2年)
	10	「介護の日」イベント参加		8	後期定期試験(経介護2年、2/10日迄)
	11	熊本県私立大学協会研修会・事務局長会議			天草地区進学説明会
		介護実習 I B(K2:11/26迄)		10	介護実習 I b実習(介1年、2/26日迄)
		教育実習(Y2:11/29迄)			一次試験合格発表
	14	入試合格発表			後期講義終了(幼2年)
	16	公開講座開催		12	後期定期試験(幼2年、2/13日迄)
	17	日商簿記検定試験			介護福祉士養成施設卒業時試験(介2年)
	19 八代市との地域連携協定調印式(16:30～市役所)			18 理事会・評議員会(ホワイトハース八代)	
	22 九州地区私立大学事務連絡協議会(八代グランドホテル)				九州地区私立短期大学協会総会
		スポーツ奨学生、特待生入試		19	成績発表(幼2年、経介護2年)
	26	会計監査		20 nakagawaふれ愛アリーナ引渡	
12	1	くま川会日帰り研修旅行(天草)			追・再試験(幼2年、経2年～21日迄)
	2	職場体験受入(6日迄)		21	くま川会交流会
	4	菊池地区進学ガイダンス		23 nakagawaふれ愛アリーナ落成式	
	5	保育所実習説明会			日商簿記検定試験
	7 二次推薦・社会人入試選考			24	保育実習 I (幼1年3/8日迄)
	11	天草地区進学説明会		25 nakagawaふれ愛アリーナ 一般公開	
	12	二次推薦・社会人入試選考合格発表			ふれ愛コンサート
	13 中間監査(会計士、13日迄)				熊本地区進学ガイダンス
		施設実習説明会		27	卒業判定会議
	14	公開講座開催		28	追・再試験成績発表(幼2年、経2年)
	16	消防避難訓練	3	4 二次試験入試選考	
		幼2年 就職講話		10	二次試験合格発表
	17	八代地区進学ガイダンス			福祉用具専門相談員講習(K1、3/14迄)
	24 内部監査(中間)			12	熊本地区進学ガイダンス
	24	冬期休暇(1/4迄)		17	AO入試(3回目)
	26	自己点検・評価委員会			入学手続完了締切日
	27	仕事納め		19	熊本高等技術訓練校卒業式(介護福祉士養成5名)
1	6	仕事始め			学位記授与式リハーサル
		講義再開		20 学位記授与式	
	20	後期講義終了(幼1、経1年、経情報2年)		21	春季休暇(4/3迄)
	21	後期定期試験(幼1、経1年経情報2年:1/23迄)		27 九州地区私立大学事務連絡協議会事務引継	
	24	保護者会役員会			次期幹事校:日本経済大学
	28	会計監査		31 王立ブノベン大学学長、学科長 表敬訪問	
	29	第三者評価全体会議			終業

経営福祉学科 平成25年度 事業報告書

学科運営方針（平成25年度）

目 的 経営福祉学科では、経営や情報および介護・福祉に関する専門的知識・技能を授け、職業人として最も基本となる人間性を育み、地域に根ざした企業人および介護福祉士として社会的貢献を通じて地域の活性化に資する人材の育成を使命とする。

平成25年度の取り組み

◎情報・ビジネスコース

以下の日程で特別講義を実施した。

平成 25 年 5 月 20 日～ 6 月 7 日	春季 日商簿記検定特別講座
平成 25 年 9 月 2 日～ 9 月 7 日	夏季 日商簿記検定特別講座
平成 25 年 8 月 19 日～ 8 月 23 日	IT パスポート試験特別講座
平成 25 年 10 月 21 日～11 月 15 日	秋季 日商簿記検定特別講座
平成 25 年 2 月 24 日～ 3 月 6 日	IT パスポート試験特別講座
平成 25 年 2 月 12 日～ 2 月 21 日	冬季 日商簿記検定特別講座

◎介護福祉士コース

1) 介護福祉士養成に関すること

I.1 年生実習に関する項目

期日	項目	対象
平成 25 年 8 月 5 日～8 月 29 日	介護実習 I a 実習	学生（通所介護・訪問介護）
平成 26 年 2 月 10 日～2 月 26 日	介護実習 I b 実習	学生（介護老人保健施設・特別養護老人ホーム）

2 年生実習に関する項目

期日	項目	対象
平成 25 年 8 月 19 日～9 月 10 日	介護実習 II B 実習	学生（介護老人保健施設・特別養護老人ホーム）
平成 25 年 11 月 11 日～11 月 26 日	介護実習 I B 実習	学生（障害者施設、グループホームほか）

※ 各実習前には、実習先事業所・施設様に向けて実習説明会を開催し、実習前施設見学・ボランティアを行い、実習中には帰校日を設け実習を終了した。また実習後には課題研究発表会を実施した。

2) 訪問介護員 2 級に関すること

実施期間：平成 25 年 4 月 8 日～平成 25 年 8 月 30 日

3) 福祉用具専門相談員に関すること

実施期間：平成26年3月10日～3月14日（1年生対象）

4) 普通救命講習に関する事

実施日：平成 25 年 12 月 16 日

5) 資格試験に関すること (資格取得者のみ)

- | | |
|----------------|----------------------|
| ・介護福祉士全国統一模擬試験 | 実施日：平成 25 年 12 月 4 日 |
| ・介護福祉士卒業時共通試験 | 実施日：平成 26 年 2 月 12 日 |

6) 学外活動

2年生：平成25年6月3日 コンソーシアム熊本主催 八代市グランドゴルフ大会に参加し約200名の健康チェックを実施した。（学生12名、教員2名参加）

1年生：平成25年11月10日 熊本県主催「介護の日」に参加

特記事項

主な就職先は、高齢者施設（向春苑、照古苑、一灯苑、白藤苑、ま心苑、安寿の里、岱明苑）、障害者施設（城南学園、天水生命学園）、病院（峯苔医院、敬仁病院、宇城総合病院、平成とうや病院など）、救護施設（野坂の浦荘）、株式会社ジョイフル、久留米印刷株式会社、に正規雇用として就職が決定した。

介護福祉士コースは卒業生 38 名中、33 名が介護福祉士資格取得に至った。3 名の学生が訪問介護員 2 級を取得し、2 名が社会福祉士主事任用資格を取得した。

幼児保育学科 平成 25 年度 事業報告書

本学科においては、建学の精神である「師弟の和熟による人間形成」に基づき、保育・教育に携わるうえで必要な教養や専門的知識、保育士・幼稚園教諭として基本的資質である豊かな人間性、地域社会発展に寄与する人材の育成・輩出を主たる目的とする。下記観点で昨年度取り組みの振り返りをおこないたい。

1. カリキュラム・教育プログラム等について

本学科の教養科目として開講された「キャリアスタディⅠ・Ⅱ」では、保育者に必要な素養や社会で生き抜くためのスキルを身につけることを目標に、文章指導から学外奉仕活動に至る幅広い課題に取り組むことができた。

昨年度、試験的に導入した「ピアサポート（上級生による下級生の支援。後述）」は、一定の成果を示した。具体的には、1・2年合同授業として「専門職ガイダンス」、2年生が1年生へ実習体験を語ったり、1年生からの相談を受けるといった「実習相談会」を実施した。学年の垣根を越えた交流を深め、良好な関係形成へ寄与した。

近年の法令規定変更により開講されている「教職実践演習」「保育実践演習」の2科目は、免許・資格取得における仕上げと位置づけられる重要な科目である。内容面・実施方法など、学科全体で検討し充実化が図られた。同時に関連全科目において学習成果を自己査定する「履修カルテ」の作成など、学生の学習への省察という部分にも成果が挙げることができた。このカルテは、平成26年度に本学が控えている「第三者評価（短期大学基準協会）」における「学習成果」を測る貴重なデータとしての活用が望まれるところである。

今後も、独自性のあるカリキュラム内容工夫や改善を進めたい。

2. 多様な学生ニーズへの支援

①様々な悩みを抱える学生への支援

人間関係で悩む学生や、大学生活において特別な支援や配慮が必要な学生には、ゼミ担当教員及び学習支援センターのスタッフが連携し、学習や生活の各方面において出来る限りの支援を行っている。例えば、情緒的・発達のなどの困難を抱える学生については、臨床心理士資格を有した教員を中心に、学習支援センター、ゼミ教員、学科長など、教員全員で相談支援を展開した。結果、該当学生における学籍継続において有効な影響を残せたといえる。

一方で例えば、学生の修学【受験時】意識と入学後の本学科の有する専門性の高い学校生活とのギャップが原因となる休・退学に関しては、ゼミ教員、学科長、保護者、場合により出身高校教員の連携のもと、連携・面談・自宅訪問などできる限りの対応・相談で取り組んでいるが、対応の難しいケースもある。今後も努力を重ねたい。

②幼稚園登録試験対策講座について

試験のための対策講座を前期期間中実施した。本学科の学生が主に保育園就職希望ということもあり、受講者数は20名程度とやや少なかったが、平成25年度は例年以上の成績を残し一定の成果を挙げたと判断している。今後も学生の質保証・向上のため取り組みたい。

③ピアサポートについて

昨年度より1・2年生合同授業などを実施し、学年の垣根を越えた交流や、学生のキャリア意識向上に成果があった。今後は授業のみならず、学内行事などの機会も有効活用し充実に努めたい。

3. 実習体制の改善および充実

実習指導室設置から5年を終え、同室は本学科における実習拠点として定着した感がある。本学科教育における実習の重要性はますます高まっており、実習をクリアできるかどうかが学生の学習モチベーション、ひいてはその後のキャリア形成にも影響するといえる。例年、実習指導教員を中心に実習前指導を行った。今年度は、定期的な担当員会議の機会を増やし情報共有や業務判断性を高めた。さらに施設実習担当者が新しくなった。例年施設実習先は学校側で確保し、学生に割り当てを行っていた。今年度は学生のモチベーション向上のため、学生に希望種別施設など詳細なアンケート調査をおこない、できる限り学生意向に沿った実習先の選定をおこなった。その結果、実習停止者もおらず概ね満足度の高い実習が実現できた。

昨年度の観察実習は、9月に公立幼稚園へ行き本実習導入教育として有意義な活動となった。事前に実習生として必要な、身だしなみマナー講座とチェックも実施し、本学科のこのような取り組みについて、高い評価を得られた。

4. 平成25年度卒業生進路状況等

平成25年度卒業生における主な就職先（進学含む）は、以下のとおりである。なお、就職内定率は97%であった。100%に向けて一層努力を重ねたい。学生の出身地や、ニーズ多様化によって、県外も含む広範囲の就職状況となっている。また近年新設されている幼保一体型施設「認定子ども園」への就職も見られた。本学科は、そこで働く上で必須となる免許・資格を2年という短期間で取得できる。この強みも今後内外へPRしていくべきであろう。

◎保育所

【八代】いずみ、わかあゆ、キューピー、わかみや、昭和、バンビ、しらぬい、高田東部、二見中央、からたち、ひので

【葦北・水俣】湯浦、あしきた、水俣さくら、はつの

【宇城松橋・御船・下益城】みどりの里（認定子ども園）、青空、白梅

【熊本市】城南慈光、雁回まこと、誠櫻幼愛園、のぞみ、熊本日の出、仁愛幼稚園、城南こばと、第二森下、北部中央

【人吉・球磨】サン、一武、みどり、せん月、人吉乳児、

【天草】本渡はまゆう、東向寺

【菊池・玉名・荒尾】大津いちご、福本、ちどり、荒尾市中央

【県外】学校法人種子島シオン学園・まこと保育園（鹿児島）、ルンビニもちお保育園（宮崎）、にじいろ保育園・ニチイキッズ白金台保育園（東京）

◎幼稚園

松寿、滝尾たんぽぽ

◎福祉施設

八代乳児院、愛育学園、宇城学園、せせらぎ、天水生命学園

◎一般就職

株式会社スタジオアリス、BREEZE 光の森店

◎進学

別府大学短期大学部専攻科初等教育専攻

なお今年度免許資格取得状況は、卒業生69名中、保育士資格65名、幼稚園教諭二種免許状64名、ピアヘルパー資格23名（こども心理コース）、初級障害者スポーツ指導員29名（保育総合コース）となった。

秀 岳 館 高 等 学 校

平成 2 5 年 度 事 業 報 告

1 法人の概要

1. 法人名 八商学園
2. 設置校 秀岳館高等学校
3. 課程・昼夜別 全日制・昼間
4. 学科・コース別
 - A 普通科
 - ①特進コース ②進学コース ③保健福祉コース ④総合コース
 - B 商業科
 - ①情報ビジネスコース ②トータルデザインコース
 - C 建設工業科
 - ①テクニカルコース ②クラフトコース

5. 学科の入学定員及び生徒数の状況

	入学定員		平成 2 5 年 度	生徒数
	定 員	総 数	入学者数	(平成 2 5 年 5 月 1 日現在)
普 通 科	2 4 0 人	7 2 0 人	3 1 5 人	9 6 1 人
商 業 科	6 0	1 8 0	4 4	1 4 2
建設工業科	1 0 0	3 0 0	3 3	1 1 0
計	4 0 0	1, 2 0 0	3 9 2	1, 2 1 3

6. 役員・教職員の概要

A 法人の役員(理事・監事)及び評議員 (平成25年5月1日現在)

役 員 数							
理 事	選任区分	定数	現員	監 事	選任区分	定数	現員
	寄附行為第 6 条 第 1 項第 1 号・2 号	人	人		寄附行為第 7 条	2 人	2 人
	3 号	2 ～ 3	3				
	4 号	2 ～ 4	3				
	計	5 ～ 8	7				

評 議 員 数		
選 任 区 分	定 数	現 員
寄附行為第 2 4 条第 1 項第 1 号	5 ～ 7 人	5 人
2 号	2 ～ 4	2
3 号・4 号	1	1
5 号	7 ～ 1 0	9
計	1 5 ～ 2 2	1 7

B 教職員数(平成25年5月1日現在)

職 務		校務分掌	
校 長	1 人	1	進学部
副校長兼事務局長	1	2	就職部
事務局次長	1	3	教務部 教育課程、日本語教育 入試、時間割、庶務
教 頭	1		
事務長	1		
教 諭	1 5	4	生徒指導部 交通・防犯 サイバーパトロール 南光キャンパス 寮運営係
講 師	4 6		
養護講師	1		
事 務	6		
非常勤講師	6		
非常勤職員	1 6	5	広報渉外部 転編入生係
計	9 5		
		6	学年部（1年・2年・3年） 特別支援
		7	人権同和教育部（特別支援）
		8	学校行事イベント部 インターアクト、生徒会 放送係
		9	体育保健部 養護 部活動、環境整備
		1 0	事務部 防災部 S T 部

7. 教育方針

「秀でた四方の山々が天空を仰ぐ名山の如く、大地にしっかり根を張り、文武両道を兼ね備え、機知機略に富む感性豊かな人材の育成」という教育理念を基に、全力を結集して最高の闘志を抱き、全てにチャレンジして行く生徒の育成を主眼とする。

8. 教育努力目標

以下の目標を掲げ、教職員が共同理解のもとに努めました。

○礼節を重んじ遵法の心を養い、調和のとれた心身ともに健全な青少年の育成に努める。

○能動的な研修意欲に富む教師となる。

①秀岳館高校に学びよかったと誇りに思う生徒。

②秀岳館高校の教師としてよろこびとビジョンをもつ教師。

③秀岳館高校を守り育て発展させようという地域の願い。

（理事会・評議員会・保護者会・同窓会）

④世界の視点に立ち、国家、社会の教育に対する要請。

（教育の動向・国際的展望）

9. 教育実践の具現化

次のことを目標に掲げ、生徒の資質向上と個々の技能発掘を目指しました。

『感性一進化（新化）』

教育実践の具現化を達成するために、「生き方を学びあう教育の創造」として、次の11項目を掲げて教育を行いました。

①礼節と対話（基本的行動の習慣性）

◎挨拶……一言対話

◎友愛……相手の思い

（優しさは対話力）

②イベントプロジェクトの重視

「広目の心で多聞し持続・増長」……怒るな叱れ ◎個の理解… 個性重視の原則

◎動機探り… 説得力

③人権学習の重視

◎人権・同和教育… 生涯学習

◎個性の尊重 … 人権学習

④生徒指導・生活指導… 対応力の研鑽

⑤教育環境の整備・充実（クリーンライフの活用）

◎美的感覚の醸成… 服装、マナー

◎自然と共生へのドリーム

⑥リフレッシュな教育

◎資格、検定等の取得

◎楽しい授業んぼ開発

◎I・T指導の進化

◎日常英会話の推進—国際交流

⑦経営推進（学級・学校）の原点は担任… 動・静・動の論理教師の力量を高める

3学科8コース制の充実・工夫… ◎各学級、各学年、各部等の連携強化

◎家庭との信頼関係… 判断力と対話力

◎切磋琢磨

⑧インタークラフト部の進取的な実践… ◎ランドスケープ・デザイナー

◎地域に貢献できる学校

⑨広報活動の充実…地域に親しまれる活動（幼・小・中・地域）

生徒主体の活動

インターネット

⑩学寮運営の教育的ビジョン… 細心のケア

⑪現在・将来・未来のビジョン（フューチャープラン課の機能）

◎感性の教育… 感動する人間、感化する人間

◎基礎・基本を身につける教育… 型より型へ

◎螺旋型教育… 点、線、面、螺旋

◎社会変革（国際交流）教育的洞察力

10. 経営方針

校訓の「中道を歩み社会有為の材となることを期せよ」をもとに「礼節を重んじ遵法の心

を養い、調和のとれた心身ともに健全な青少年の育成に努める。」ことを教育努力目標に、

- 1 実践三綱領 ①礼節…敬天愛人の道を深める (徳)
②真理…温故知新の学理を深める (知)
③剛健…剛毅木訥の人となる (体)
- 2 目指す学校像 ①マインド (心、意識、理性) に溢れる・・・授業・イベント
②優しさを基本とする (六感の自覚) ～個性開花～
③生涯学習社会ネットワーク確立を図る・・・地域等との連携
④創造性に富む対話力 = 実のある研修
- 3 目指す生徒像 ①自他の調和を図り、共生・共有する生徒 (個性発信の能動性)
②豊かな洞察力と判断力・実践力 (知的感性)
③国際的視点に立つ
- 4 心ある教師像 ①視野を広げ、柔軟性と豊かなビジョンを持つ教師
②新しいものをクリエイトしていく、チャレンジ精神の教師
③生活指導のできる教師 (生徒指導力につなげる)
④事例即・我教師

を育成することであり、教育実践の具現化として、「和願愛語一ひとこと対話」を目標に個性の発掘を行いました。

本校には国公立の大学に進みたい者、スポーツに励みたい者、一芸に秀でた者、中学校の出席日数が少ない者、身体の障害のある者などいろんな生徒が学園で共に学んでいます。そうしたなかで和願愛語一ひとこと対話を行い、生徒一人一人を大切にしています。

平成25年度は382名の卒業生を社会に送り出しました。卒業生の進路として、67% (257名) の生徒が進学しました。その内、25% (96名) が四年制大学に、19% (74名) が短大に、23% (87名) が専門学校等に進学しました。

卒業生の内、33% (125名) の生徒が就職し、26% (33名) が県内に、31% (39名) が県外に就職しました。46% (57名) は一時的に就職した生徒、家事手伝いなどについています。

「進学先」

○四年生大学

防衛大学、熊本県立大学、鹿児島大学、琉球大学、熊本保健福祉大学、北九州市立大学、獨協大学、九州保健福祉大学、福岡女学院看護大学、亜細亜大学、熊本学園大学、東海大学、九州看護福祉大学、崇城大学、法政大学、徳山大学、大阪経済法科大学、宮崎大学、甲南大学、龍谷大学、西南学院大学、西九州大学、明海大学、福岡大学、愛知学院大学、九州産業大学、国士舘大学、佛教大学、福岡女学院大学、松蔭大学、阪南大学、朝日大学、山梨学院大学、長崎国際大学、環太平洋大学、第一工業大学、大阪産業大学、国際武道大学、日本経済大学、拓殖大学、鹿児島国際大学、九州国際大学、九州共立大学、京都産業大学、大阪電気通信大学、福岡工業大学、羽衣国際大学、大阪体育大学、大阪学院大学、天理大学、東亜大学、中央学院大学

○短期大学

中九州短期大学、尚絅大学短期大学部、福岡女子短期大学、熊本県立技術短期大学校、別府溝部学園短期大学、香蘭女子短期大学校

○専門学校

熊本県立高等技術専門学校、辻製菓専門学校、熊本歯科技術専門学校、熊本駅前看護リハビリテーション学院、熊本総合医療リハビリテーション学院、九州医療スポーツ専門学校、福岡医療専門学校、ヒューマンアカデミー専門学校、八代実業専門学校、ヒロ・デザイン専門学校、モア・ヘアメイクカレッジ、熊本ベルエベル、八代看護学校、美萩野臨床医学専門学校、トヨタ看護専門学校、トヨタ神戸自動車大学校、久木田学園看護専門学校、日産京都自動車大学校、熊本医師会看護専門学校、大阪法律専門学校、横浜医療センター付属横浜看護学校、久留米工業専門学校、福岡リハビリテーション専門学校、麻生工科自動車大学校、リゾートトラストホテルカレッジ、九州電気専門学校、福岡医療専門学校、福岡リゾート&スポーツ専門学校

「就職先」

○県内

YKKAP(株)、松木産業(株)、松木運輸(株)、櫻井精技(株)、横場工業(株)、平成病院、八代病院、社会福祉法人白寿会、(株)永井製作所、あしきた農業協同組合、(株)シルバーバック、(株)大蔦屋

○県外

東京ガス(株)、東西オイルターミナル(株)、トヨタ車体(株)、(株)上組、ダイハツ工業(株)、三菱ふそうトラック・バス(株)、住友電気工業(株)、ポラテック西日本(株)、エネクスフリート(株)、(株)ハンズマン、(株)コメリ、(株)にしけい、井原築炉工業(株)、佐川急便(株)、(株)杉孝
自衛隊(6名)、警視庁、東京読売巨人軍。

2 事業の概要

平成25年度 事業報告書

秀岳館高等学校

月	日	事業内容	月	日	事業内容
4	1	新任辞令交付、学園現金預金監査(公認会計士)	10	31	坂本中、天明中学校説明会
	5	新任式・始業式	11	5	宇土鶴城中、富合中学校説明会
	6	入学式(392名、八代厚生会館)		6	住吉中説明会
	10	生徒・職員健康検診(～6/5日)		7	三角中学校説明会、岩手県釜石市釜石小学校来校(～9日)
	19	ボランティアフオーク		8	第十六回秀岳館高校「ふれ愛まつり」、
	26	城南八代益城地区高校体育大会		13	八代五中職員説明会
5	10	創立記念日(八代市総合体育館)	14	二岡中学校説明会	
	12	あしながPフオーク10	15	天草地区チャリティーコンサート(松島アロマ)、熊本合同説明会(火の国ハイツ)、泉中学校説明会	
	22	決算監査(公認会計士)(22日)	19	野球打撃ゲージ建設起工式	
	24	決算監査(学園監事)、7/1カより教育視察団来校	20	水俣・芦北チャリティーコンサート(しろやまスカイ・ーム)	
	27	高校総体・総文祭推戴式、職員研修	23	八代妙見祭参加(鉄砲・毛槍・獅子、飾馬)	
	29	学園理事会・評議員会	26	公認会計士監査、宇城地区合同説明会	
	31	県高校総合体育大会、総合文化祭(～6/3日)	29	特進海外ホームスティ(～12/11日)	
6	17	歯科実習(2年:6/17～21、3年:6/17～28)	12	2	2学年職場体験学習(～5)
	20	C3-2調理体験学習		13	公認会計士中間監査
	26	高校生と企業人との交流会		18	C2-2美容体験授業
	27	介護に関する出前授業(視聴覚室)		20	2学期終業式、職員研修
	28	オーストラリアより教育視察団来校		24	学園監事中間監査
	7	1	求人票受付開始、オーストラリアより高校生来校(生徒26名)	28	仕事納め
3		私立学校初任者九州地区研修会(～5日)	1	4	仕事始め
4		津奈木中説明会		7	3学期始業式
8		C3-2プラダ®体験授業(17日)		9	推薦・専願生願書受付(～21日)
10		鏡中学校・八代三中学校説明会		18	大阪・福岡・奄美地区推薦専願生入試 大学入試センター試験(～19日)
11		田浦中学校説明会		19	沖縄地区推薦専願生入試
12		佐敷中学校説明会		20	石垣地区推薦専願生入試
13		総合体育館建設起工式(Nakagawaふれ愛アリーナ)		22	推薦・専願生入試
19		一学期終業式、職員研修		24	推薦・専願生合格発表
23		夏期「高校生病院体験」学習(25日)		26	推薦・専願生入学手続(～27)
29		一日体験入学		28	公認会計士監査
31	2013 高校生の一日看護体験学習(～8/2)	2	3	2学年修学旅行(～8日)	
8	1		私学一斉研修会	7	併願入学願書受付(～19日)
	4		八代くま川まつり「総踊り」参加	18	学園理事会・評議員会
	23		公認会計士監査H25年度監査打合せ	20	併願生入試
	26		職員研修	21	韓国「現一高校」生徒30人来校
	27	二学期始業式	23	ふれ愛アリーナ(総合体育館)落成式	
	30	沖縄地区生徒募集(～9/2)	25	雅太鼓部コンサート(ふれ愛アリーナ落成記念) 併願生合格発表	
9	2	就職応募書類発送	26	併願生第一回入学手続き(～27日)	
	4	1学年阿蘇研修(～6日)	3	1	25年度卒業証書授与式
	14	体育大会		12	八代市公立学校退職校長会より「桜の木」寄贈受ける、 ふれ愛アリーナへ(15本)
	16	就職選考開始		13	併願生第二回目入学手続き(～14日)
	18	八代七中説明会、G3-5看護体験学習(～20日)		20	修了式・退任式
	24	公認会計士監査		21	26年度入学生の入学説明会
25	職員研修	31	25年度事業終了		
10	4	元全日本バレーボール男子キャプテン荻野正一氏特別講演・実技指導			
	7	G3-5介護福祉コース介護体験学習(～9日)			
	10	球磨・人吉地区チャリティーコンサート(須恵文化ホール)			
	11	飛鳥II出港セレモニー(生徒400人参加)			
	18	秀岳祭(発表・展示・マーケット)(～21日)			
	23	高校生のための就職フェア、G3-5介護福祉コース 介護体験学習(～25日)			
	24	公認会計士監査、松橋中学校説明会			
	28	不知火中、網田中学校説明会			
	29	豊野中学校説明会			
	30	八代八中、下益城中学校説明会			

3 財務の概要

【高校】

(単位 千円)

科 目	H20年	H21年	H22年	H23	H24	H25
生 徒 数 (人)	1,208	1,111	1,137	1,158	1,241	1,215
納 付 金 収 入	495,040	458,693	472,923	484,384	512,488	501,898
手 数 料 収 入	5,184	5,728	5,443	6,341	5,499	4,778
寄 付 金 収 入	1,000	2,848	586	0	50	0
補 助 金 収 入	293,800	290,451	365,982	299,313	315,259	324,743
資 産 運 用 収 入	6,520	6,179	6,753	6,353	7,505	7,433
事 業 収 入	156,370	166,404	173,463	198,465	219,985	231,536
雑 収 入	54,118	9,800	30,403	35,732	20,535	28,197
合 計	1,012,032	940,103	1,055,553	1,030,588	1,081,321	1,098,585

人 件 費 支 出	440,891	376,578	401,360	405,596	400,531	400,152
教 職 員 人 件 費	325,028	313,420	315,603	315,372	320,693	311,403
退 職 金	51,425	3,773	24,152	29,588	18,393	25,636
退 職 金 掛 金	28,655	27,150	27,621	26,501	26,498	25,733
所 定 福 利 費	35,783	32,235	33,984	34,135	34,947	37,380
教 育 経 費 支 出	327,970	324,199	280,320	309,991	323,506	315,731
管 理 経 費 支 出	165,206	168,314	173,184	188,077	224,627	234,421
支 払 利 息 支 出	913	1,646	2,836	2,837	2,123	2,721
雑 支 出	5,599	18,581	10,900	12,139	5,430	7,104
剰 余 金	71,453	50,785	186,953	111,948	125,104	138,456
合 計	1,012,032	940,103	1,055,553	1,030,588	1,081,321	1,098,585

【短大】

科目	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
学 生 数 (人)	248	263	273	269	266	254
納 付 金 収 入	230,764	236,631	249,031	246,073	243,734	232,299
手 数 料 収 入	4,723	5,120	4,456	5,206	4,574	5,159
寄 付 金 収 入	8,074	3,288	2,885	8,231	3,914	3,408
補 助 金 収 入	48,872	42,587	44,811	49,858	43,929	47,422
資 産 運 用 収 入	3,127	2,721	3,353	2,626	2,220	2,025
事 業 収 入	6,552	9,556	7,253	5,269	12,244	10,646
雑 収 入	23,935	11,480	7,092	14,930	19,681	2,640
合 計	326,047	311,383	318,881	332,193	330,296	303,599

人 件 費 支 出	190,973	174,098	273,538	178,529	155,269	151,564
教 職 員 人 件 費	139,769	136,217	130,349	130,198	129,201	127,714
退 職 金	23,790	11,292	6,901	14,885		
退 職 金 掛 金	13,177	12,697	13,414	14,761	12,408	7,946
所 定 福 利 費	14,237	13,892	13,863	13,874	13,660	14,185
退 職 給 与 引 当 金 繰 入			109,011	4,811	0	1,719
教 育 経 費 支 出	27,560	36,158	30,699	31,797	32,832	33,625
管 理 経 費 支 出	26,918	35,575	28,443	28,219	34,402	31,008
支 払 利 息 支 出	697	122	0	0	0	0
雑 支 出	2,486	6,703	3,014	1,522	2,537	2,506
余 剰 金	0	0	-16,813	0	0	0
合 計	248,634	252,656	318,881	240,067	225,040	218,703

資金収支計算書

平成25年4月1日

平成26年3月31日

(単位 円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 額
学生生徒納付金収入	677,470,000	734,197,250	56,727,250
手数料収入	8,907,000	9,936,850	1,029,850
寄付金収入	3,287,000	3,407,863	120,863
補助金収入	350,377,308	372,165,702	21,788,394
国庫補助金収入	35,000,000	47,359,000	12,359,000
地方公共団体補助金収入	315,092,308	324,521,702	9,429,394
市町村補助金収入	285,000	285,000	0
資産運用収入	9,400,000	9,458,193	58,193
事業収入	242,897,800	242,181,500	△ 716,300
雑収入	26,401,540	29,173,087	2,771,547
借入金等収入	486,000,000	486,000,000	0
前受金収入	82,671,250	101,513,750	18,842,500
その他の収入	255,431,515	224,997,650	△ 30,433,865
資金収入調整勘定	△ 191,127,981	△ 201,639,181	△ 10,511,200
前年度繰越支払資金	2,042,503,417	2,042,503,417	0
収入の部合計	3,994,218,849	4,053,896,081	59,677,232

支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 額
人件費支出	551,089,063	552,127,228	1,038,165
教育研究経費支出	336,730,851	349,894,191	13,163,340
管理経費支出	300,426,073	250,338,473	△ 50,087,600
借入金等利息支出	2,890,000	2,721,485	△ 168,515
借入金等返済支出	75,210,000	75,210,000	0
施設関係支出	495,772,500	496,168,549	396,049
設備関係支出	56,230,000	52,033,914	△ 4,196,086
資産運用支出	0	0	0
その他の支出	176,053,517	173,950,676	△ 2,102,841
予備費	1,997,202	0	△ 1,997,202
資金支出調整勘定	△ 77,837,478	△ 63,069,338	14,768,140
次年度繰越支払資金	2,075,657,121	2,164,520,903	88,863,782
支出の部合計	3,994,218,849	4,053,896,081	59,677,232

資金収支計算書は、当該会計年度の諸活動に対応するすべての収入及び支出の内容並びに当該年度における支払資金の収入及び支出の顛末を明らかにしたものです。

(1) 資金収支計算書：収入の部

当年度収入合計が予算比5,967万円増の201,139万円となり、前年度繰越支払資金を加えた収入の部合計では、405,390万円。前年度比では、60,550万円増となっています。

(2) 資金収支計算書：支出の部

当年度支出合計が予算比5,967万円増の195,244万円。教育研究経費が予算を1,316万円上回ったが、次年度繰越支払資金は、翌年度の収入となる前受金収入を含み216,452万円となり、前年度比では12,202万円の増となっています。

消費収支計算書

平成25年4月1日

平成26年3月31日

(単位 円)

消費収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 額
学生生徒納付金	677,470,000	734,197,250	56,727,250
手数料	8,907,000	9,936,850	1,029,850
寄付金	3,387,000	3,407,863	△ 20,863
補助金	350,377,308	372,165,702	21,788,394
国庫補助金	35,000,000	47,359,000	12,359,000
地方公共団体補助金	315,092,308	324,521,702	9,429,394
市町村補助金	285,000	285,000	0
資産運用	9,400,000	9,458,193	58,193
事業収入	242,897,800	242,181,500	△ 716,300
雑収入	31,827,540	30,837,537	△ 990,003
帰属収入合計	1,324,266,648	1,402,184,895	△ 77,918,247
基本金組入額合計	△ 102,591,807	△ 120,635,214	18,043,407
消費収入の部合計	1,221,674,841	1,281,549,681	△ 59,874,840

消費支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 額
人件費	552,808,193	551,716,358	1,091,835
教育研究経費	376,548,007	397,464,532	△ 20,916,525
管理経費	340,135,258	289,183,650	50,951,608
借入金等利息	2,890,000	2,721,485	168,515
資産処分差額	1,896,143	1,896,142	1
徴収不能額	902,245	902,245	0
徴収不能引当金繰入額	7,330,500	6,811,600	518,900
予備費	3,502,040		3,502,040
消費支出の部合計	1,286,012,386	1,250,696,012	35,316,374
当年度消費収入超過額	△ 64,337,545	30,853,669	
前年度繰越消費収入超過額	481,524,365	481,524,365	
基本金取崩額	△ 5,400,000	△ 13,070,062	
翌年度繰越消費収入超過額	422,586,820	525,448,096	

消費収支計算書は、当該会計年度の消費収入及び消費支出の内容及び均衡の状態を明らかにするためのものです。学校法人は、営利企業とは異なり、教育・研究が目的ですので、剰余金が多いほど良いというのではなく、長期にわたって収支の均衡をとることが求められています。

(1)消費収支計算書：消費収入の部

帰属収入合計(学校法人の負債としない収入)が予算比7,792万円増の140,218万円(前年度比943万円減)となり、基本金組入額合計が、予算比1,804万円増の12,064万円(前年度比544万円減)となり、消費収入の部合計は予算比5,987万円増の128,155万円(前年度比399万円減)となりました。

(2)消費収支計算書：消費支出の部

消費支出の部合計が予算比3,532万円減の125,070万円(前年度比1,075万円増)。

(3)消費収支計算書：当年度消費収支差額は3,085万円の消費収入超過(前年度は4,559万円の消費収入超過)で翌年度繰越消費収入超過額は52,545万円となりました。

貸 借 対 照 表

平成26年3月31日

(単位 円)

資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	(3,244,334,053)	(2,785,006,312)	(459,327,741)
有形固定資産	(2,958,828,983)	(2,499,323,333)	(459,505,650)
土地	582,221,473	582,221,473	0
建物	1,713,921,790	1,279,580,072	434,341,718
その他の有形固定資産	662,685,720	637,521,788	25,163,932
その他の固定資産	(285,505,070)	(285,682,979)	(-177,909)
流動資産	(2,314,841,604)	(2,228,888,326)	(85,953,278)
現金預金	2,164,520,903	2,042,503,417	122,017,486
その他の流動資産	150,320,701	186,384,909	△ 36,064,208
資産の部合計	5,559,175,657	5,013,894,638	545,281,019

負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	(536,854,259)	(195,499,129)	(341,355,130)
長期借入金	441,813,000	100,047,000	341,766,000
退職給与引当金	95,041,259	95,452,129	△ 410,870
流動負債	(289,895,218)	(237,458,212)	(52,437,006)
短期借入金	122,052,000	53,028,000	69,024,000
その他の流動負債	167,843,218	184,430,212	△ 16,586,994
負債の部合計	826,749,477	432,957,341	393,792,136

基本金の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
第1号基本金	4,113,978,084	4,006,412,932	107,565,152
第4号基本金	93,000,000	93,000,000	0
基本金の部合計	4,206,978,084	4,099,412,932	107,565,152

消費収支差額の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
翌年度繰越消費収入超過額	525,448,096	481,524,365	43,923,731
消費収支差額の部合計	525,448,096	481,524,365	43,923,731

科 目	本年度末	前年度末	増 減
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	5,559,175,657	5,013,894,638	545,281,019

貸借対照表は、平成26年3月31日現在の資産、負債、基本金等の状況を前年度末と対比させて表示しています。

(1)資産の部

施設関係(総合体育館の建設、女子寮の整備等)設備関係(教室の黒板をホワイトボードへ入替、学生用ロッカーの入替等)を行ったため、前年度より54,528万円増加した。

(2)負債の部

本年度は総合体育館建設の為48,600万円の借入金が発生し、前年度より39,380万円の増加となった。

(3)基本の部

施設投資をしたため、第一号基本金は前年度より10,757万円増加した。

(4)消費収支差額の部

第一号基本金への基本金組入(10,757万円)のため、当年度消費収入超過額(3,085万円)になりました。その結果、翌年度消費収入超過額が増加しました。

◎主要財務比率

比率		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{帰属収入}}$	44%	49%	43%	39%	39%
人件費依存率	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}}$	79%	93%	80%	73%	75%
教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{帰属収入}}$	32%	25%	28%	28%	28%
管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{帰属収入}}$	17%	15%	17%	20%	21%
帰属収支差額比率	$\frac{\text{帰属収入} - \text{消費支出}}{\text{帰属収入}}$	4%	9%	10%	12%	14%

財 産 目 録

平成26年3月31日

I 資産総額	5,559,175,657 円
内 基本財産	3,244,334,053 円
運用財産	2,314,841,604 円
収益事業用財産	0 円
II 負債総額	826,749,477 円
III 正味財産	4,732,426,180 円

区 分		金 額
資産額		
1 基本財産		
土地	80,158.71 m ²	582,221,473 円
建物	28,613.00 m ²	1,713,921,790 円
図書	61,850 冊	132,494,301 円
教具・校具・備品		530,191,419 円
その他		285,505,070 円
2 運用財産		
現金預金		2,164,520,903 円
その他		150,320,701 円
3 収益事業用財産		0 円
資 産 総 額		5,559,175,657 円
負債額		
1 固定負債		
長期借入金		441,813,000
その他		95,041,259
2 流動負債		
短期借入金		122,052,000
その他		167,843,218
負 債 総 額		826,749,477
正味財産(資産総額－負債総額)		4,732,426,180

学校法人会計基準の基本

学校法人が学校経営を行う目的は、教育・研究を推進することで、人材を育成するとともに研究活動の成果を社会に還元することです。そのため 学校法人会計の基本的な考え方は、企業の会計原則と変わりありませんが、企業会計が損益を重視するのに対して、「計算書類」によって教育活動が円滑に行えるか否かを知ることにあります。

国や地方公共団体から補助金を交付される学校法人は「学校法人会計基準」に従って会計処理を行い「資金収支計算書」「消費収支計算書」「貸借対照表」の各種計算書類の作成が義務づけられています。

資金収支計算書

毎会計年度、当該会計年度の諸活動に対応するすべての収入及び支出の内容並びに当該会計年度における支払資金の収入及び支出のてん末を明らかにするものです。

主な科目の内容は、以下の通りです。

- | | |
|-------------|---|
| 【学生生徒納付金収入】 | 授業料収入、入学金収入、施設設備資金収入、冷暖房費収入、施設設備充実費収入の納付金。 |
| 【手数料収入】 | 入学検定料収入、試験料収入、各種証明手数料収入。 |
| 【寄付金収入】 | 一般寄付金。 |
| 【補助金収入】 | 国庫補助金、地方公共団体補助金、市町村補助金。 |
| 【資産運用収入】 | 受取利息収入、学内施設の施設設備利用料収入。 |
| 【事業収入】 | 入寮費・寮費及び学生食堂等を計上する補助活動費収入。 |
| 【雑収入】 | 退職金社団交付金収入、その他の雑収入。 |
| 【前受金収入】 | 前年度の3月までに受け入れた収入で、当年度になって入学金や授業料、施設設備資金に振替えられる資金収支計算書特有の科目です。 |

【その他の収入】	前期末未収入金回収収入及び預り金受入収入や立替金回収収入など、短期的に精算される収入で、雑収入と違い消費収支計算書に影響しません。
【資金収入調整勘定】	収入として計上したが未収となっている期末未収入金や、前受金として前年度までに受け入れた収入を、当年度に本来の科目に計上した前期末前受金等を調整する科目で、マイナス表示します。
【教育研究経費支出】	教育研究に用いる経費。
【管理経費支出】	教育研究に用いる経費以外の経費。
【施設関係支出】	土地、建物、構築物支出。
【設備関係支出】	教育研究用機器備品やその他の機器備品、図書、車両等。
【その他の支出】	資産に計上する支出で、前払金支出や立替金支出、保証金支払、また負債の支払として前期末未払金支出や預り金支払支出等。
【資金支出調整勘定】	支払として計上したが未払となる期末未払金や、前年度支払っている経費を当年度に本来の科目に計上した前期末払金等を調整する為の科目でマイナス表示されます。

消費収支計算書

当該年度の消費収支の内容と状況を示すことにより学校法人の経営状況を表しています。

法人に帰属する負債にならない収入と、資産・借入金の返済・積立金など資本的支出にあてるものを除いた支出を計上します。また、収入からは学校法人を継続的に運営していくための、教育に必要な資産を保持するための金額である基本金を除いた収入を表示しています。

科目の多くは「資金収支計算書」と同じですが、消費収支計算書だけにみられる主な科目は以下の通りです。

【現物寄付金】 資金の受入がないので消費収支上にしか反映されません。

【退職給与引当金繰入額】 実際の退職金の支払いに先立って、予め毎年度に負担額を消費支出として計上することが、消費収支の均等を維持するうえで必要とされるものです。

【減価償却額】 固定資産のうち建物・構築物・機器備品等は、時の経過により価値が減少するものとして減価償却を行い、取得原価を毎年度の消費支出に費用配分しています。学校法人会計基準では、全て定額償却です。

【資産処分差額】 不動産などを売却し、その代価が帳簿残高を下回った場合、その差額を計上する。また、建物・構築物等の取壊しや、使用不能になった機器備品を除却処分した場合、処分時点の帳簿残高を計上する。

【基本金組入額】 学校法人が諸活動の計画に基づき、教育研究の維持・充実に必要な校地、校舎、機器備品、図書、現金、預金などの資産を継続的に保持するための金額であり、帰属収入から組入れた金額で、第1号基本金から第4号基本金まであります。

(第1号基本金) 施設(土地、建物等)・設備(機器備品、図書等)の取得額、及びその取得のために借り入れた資金の返済額を組入れ額として計上。

(第2号基本金) 計画に基づき先行組入れした金銭等の額

(第3号基本金) 継続的に保持・運用するために組入れた金銭等の額

(第4号基本金) 必要な運転資金を常時保持するため、恒常的に保持すべき資金として基本金に組入れる額

貸借対照表

当該年度末における資産・負債・基本金および収支差額を示しており財務状況の健全性を表すものです。基本金と消費収支差額の合計額が、学園の正味財産となり「資産＝負債＋基本金＋消費収支差額」となります。

【固定資産】 耐用年数が2年以上の有形固定資産(土地・施設・設備・図書等)と保有期間が1年を超えると見込まれる有価証券、債権などの資産のこと。

【流動資産】 現金預金・未収入金・前受金・仮払金等。

【固定負債】 長期借入金・退職給与引当金等。

【流動負債】 短期借入金・未払金・前受金・預り金・立替金等。

学校法人会計の原則

学校法人会計は次の四つの原則により行われており、学校法人の経理の適正化や合理化を図るため、公認会計士又は監査法人による監査制度が導入されています。

- 1.財政及び経営の状況について、真実な内容を表示すること。
- 2.すべての取引について、複式簿記の原則によって、正確な会計帳簿を作成すること。
- 3.財政及び経営の状況を正確に判断することができるように、必要な会計事実を明瞭に表示すること。

4.採用する会計処理の原則及び手続き並びに計算書類の表示方法については、毎会計年度継続して適用し、みだりにこれを変更しないこと。

学校会計と企業会計との違いについて

学校法人も企業も経済活動を営んでいる点では同じですが、その事業目的に大きな違いがあります。企業は経済活動そのもの、利益追求を目的としていますが、学校法人は教育・研究活動を目的としています。ただし、経済活動が目的でなくても、教育研究活動を行う手段として経済活動も営む必要があります。学校法人の財政構造は、企業のように「モノ」を生産・販売し、利潤を獲得するといった生産経済体とは異なり、支出の増加に対して収入の増加を図ることが難しい非弾力的な構造を持つ消費経済体です。学校法人の収入の7割強が、自由に増額することが難しい学生生徒等からの入学金や授業料や国や地方公共団体からの補助金で構成されており、教育・研究発展のための支出を削減することは難しいことが特徴です。

経済面から企業の役割と学校法人の役割では、委託責任機能、管理機能ではその対象、方法に違いはあるものの同じといえますが、学校法人には利益測定機能はありませんが、学校を存続させるための収支バランスの状況測定は必要であり、消費収支計算書がその役割を果たしています。

収益の獲得を目的としない学校法人の会計には、損益の計算という目的はありません。企業会計との基本的体系の違いとしては、企業会計にはない「資金収支計算書」の存在です。また、教育という公益性の強い事業を行う法人のため、その永続性を重視したことから基本金という概念が導入されています。

学校法人の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わりますが、この会計年度ごとに、「資金収支計算書」、「消費収支計算書」、「貸借対照表」などの計算書類を作成しなければなりません。また、資産と負債の内容を明らかにする「財産目録」を作成する必要もあります。

学校法人会計と企業会計の目的や作成する計算書類等の相違点は以下のとおりです。

	学校法人会計	企業会計
事業目的	教育・研究活動	利潤獲得のための経済活動
会計処理のルール	学校法人会計基準	企業会計原則
財政構造	消費経済体	生産経済体
作成書類	資金収支計算書	キャッシュフロー計算書
	消費収支計算書	損益計算書
	貸借対照表	貸借対照表

財務の概要・付録 学校会計について

本学院の会計は、「学校法人会計基準」に基づき、以下の三種類の計算書類を作成しております。これらについて、本学院の仕訳方法を踏まえてご説明致します。

資金収支計算書 とは・・・

毎会計年度、当該会計年度の、学院の諸活動に対応するすべての収入及び支出の内容、並びに、当該会計年度における支払資金（現金及びいつでも引き出すことができる預貯金）の収入、及び支出のてん末を明らかにするものです。企業会計で言うキャッシュフロー計算書に相当します。

主な科目の内容は、以下の通りです。

【学生生徒納付金収入】 授業料収入、入学金収入、施設費収入等の納付金

【手数料収入】 入学検定料収入、中高の進路模試の試験料、大学の各種検定試験料、在学・卒業等の証明手数料等

【寄付金収入】 寄付者が用途を指定する特別寄付金と、指定しない一般寄付金。

【補助金収入】 経常費、施設整備等の全ての補助金。

【資産運用収入】 受取利息収入と、学内施設や阿蘇山荘利用等の施設設備利用料収入。

【事業収入】 中高の寮活動、及び幼稚園のスクールバス利用等を計上する補助活動収入や、大学で行う公開講座収入、韓国提携大学の学生を受け入れる受託事業収入等。

【雑収入】 退職金団体交付金収入や、大学のボランティア体験の体験学習収入、大学科研費の間接経費収入等。

【前受金収入】 前年度の3月までに受け入れた収入で、当年度になって入学金や施設充実費に振替えられる、資金収支計算書特有の科目です。

【その他の収入】 預り金受入収入や仮払金回収収入など、短期的に精算される収入で、雑収入と違い、消費収支計算書に影響しません。

【資金収入調整勘定】 収入として計上したが未収となっている期末未収入金や、前受金として前年度までに受け入れた収入を、当年度に本来の科目に計上した前期末前受金等を調整する科目で、マイナス表示します。

【教育研究経費支出及び管理経費支出】

経費支出は、教育研究に用いるものとそれ以外に分けています。

【施設関係支出】 土地支出、建物支出、構築物支出、建設仮勘定支出、施設利用権。

【設備関係支出】 教育研究用機器備品やその他の機器備品、図書、車両等。

【資産運用支出】 特定預金や特定資産への繰入支出や有価証券購入支出等。

【その他の支出】 資産に計上する支出で、前払金支払支出や仮払金支払支出、また、負債の支払いとして前期末未払金支払支出や預り金支払支出等。

【資金支出調整勘定】 支出として計上したが未払いとなる期末未払金や、前年度までに支払っている経費を当年度に本来の科目に計上した前期末前払金等を調整する為の科目で、マイナス表示されます。

消費収支計算書 とは・・・

当該年度における学院の諸活動の計画を、消費収入及び消費支出の内容と収支の均衡状態とを明らかにし、財務状況が健全であるかどうかを計算・表示するもので、企業会計の損益計算書に相当しますが、「基本金組入れ」を表示する点が異なります。

具体的には、「帰属収入」（借入金のような学院の負債とならない学生生徒納付金、補助金、寄付金等）から「基本金組入額」を差引き（この金額を「消費収入」と言います）、人件費や経費等の「消費支出」との均衡状況を示します。科目の多くは「資金収支計算書」と同じです。

消費収支計算書だけにみられる主な科目は以下の通りです。

【現物寄付金】 資金の受入れがないので消費収支上にしか反映されません。今期、学院関係者より、花苗、ハンドベル及び絵画をご寄贈戴きました。

学院関連の団体よりプロジェクター及びピアノの寄贈を受けました。

【退職給与引当金繰入額】 実際の退職金支払いに先立って、予め毎年度に負担額を消費支出として計上することが、消費収支の均衡を維持するうえで必要とされるものです。 具体的な計算方法は、大学の場合、期末要支給額を基にして、私立大学退職金財団に対する掛金の累計額と、交付金の累計額との組入調整額を加減した金額を全額計上。大学以外の教職員に係る退職給与引当金については、期末要支給額から、(社)熊本県私学教育振興会よりの交付金相当額を控除した金額を全額計上。

【減価償却額】 固定資産のうち建物・構築物・機器備品などは、時の経過により価値が減少するものとして減価償却を行い、取得原価を毎年度の消費支出に費用配分しています。学校法人会計基準では、全て定額償却です。

【資産処分差額】 不動産などを売却し、その代価が帳簿残高を下回った場合、その差額を計上。また建物・構築物などの取壊しや、使用不能になった機器備品を除却処分した場合、処分時点の帳簿残高を計上。

【基本金組入額】 学校法人が諸活動の計画に基づき、教育研究の維持・充実に必要な校地、校舎、機器備品、図書、現金・預金などの資産を継続的に保持するための金額であり、帰属収入から組入れた金額で、下表のように第1号基本金から第4号基本金までがあります。

第1号基本金 施設（土地、建物等）・設備（機器備品、図書等）の取得額、及びその取得のために借り入れた資金の返済額を組入額として計上

第2号基本金 計画に基づき先行組み入れした金銭等の額

第3号基本金 周年記念奨学基金等として継続的に保持・運用するために組み入れた金銭等の額

第4号基本金 必要な運転資金を常時保持するため、恒常的に保持すべき資金として基本金に組み入れる額

※基本金と資本金：「基本金」とは、企業会計の資本金とは異なり、学校法人会計独自の計算構造で、学校法人がその諸活動の計画に基づき、必要な資産を継続的に保持するために帰属収入から組み入れた金額です。

貸借対照表 とは・・・

会計年度末における学校法人の財政状態（ストック）を表したものです。基本金と消費収支差額の合計額が、学院の正味財産で、企業会計の資本の部に相当します。従って、
「資産＝負債＋基本金＋消費収支差額」となります。

資産の部

固定資産

有形固定資産

土 地

：

その他の固定資産

借地権

出資金

：

流動資産

現金預金

未収入金

：

負債の部

固定負債

長期借入金

退職給与引当金・・・

流動負債

短期借入金

未払金、前受金・・・

基本金の部

第1号基本金

第2号基本金

第3号基本金

第4号基本金

消費収支差額の部

翌年度繰越消費収入超過額

（又は翌年度繰越消費支出超過額）

【固定資産】 耐用年数が2年以上の有形固定資産（土地・施設・設備・図書等）と、保有期間が1年を超えると見込まれる有価証券、債権などの資産のこと。

【流動資産】 現金預金・未収入金・前払金・仮払金等。

【固定負債】 長期借入金・退職給与引当金等。「退職給与引当金」は、教職員に将来退職金として支払うべき退職金を、負債として認識するもの。中高・幼稚園と大学とでは引当金の計算方法が違っている為、それぞれに計算して計上しています。

【流動負債】 短期借入金・未払金・前受金・預り金・仮受金等。

←正味財産

大科目

中科目

小科目

平成26年 5月23日

学校法人 八 商 学 園
理事長 中 川 静 也 殿

学校法人 八 商 学 園

監 事 坂 口 浩 昭 

監 事 富 田 壽 人 

監 査 報 告 書

私たちは、学校法人八商学園の監事として、私立学校法第37条第4項に基づいて平成25年度（平成25年4月1日から平成26年3月31日まで）における計算書類、すなわち、資金収支計算書（人件費支出内訳表を含む。）、消費収支計算書及び貸借対照表（固定資産明細表、借入金明細表及び基本金明細表を含む。）及び理事の業務執行状況について監査を行いました。

監査の結果、私たちは上記の計算書類は学校法人会計基準（昭和46年文部省令第18号）に準拠して、学校法人八商学園の平成26年3月31日をもって終了する会計年度の経営の状況及び同日現在の財政状態をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

また、理事の業務執行状況に関する不正の行為、または法令もしくは寄附行為に違反する事実のないことを確認いたしました。

独立監査人の監査報告書

平成26年 5月29日

学校法人 八商学園
理事会 御中

大同監査法人

業務執行社員

公認会計士 氏 森 昌



当監査法人は、私立学校振興助成法第14条第3項の規定に基づく監査報告を行うため、昭和51年7月13日付け文部大臣告示第135号に基づき、学校法人八商学園の平成25年度（平成25年4月1日から平成26年3月31日まで）の計算書類、すなわち、資金収支計算書（人件費支出内訳表を含む。）、消費収支計算書及び貸借対照表（固定資産明細表、借入金明細表及び基本金明細表を含む。）、重要な会計方針及びその他の注記について監査を行った。

計算書類に対する理事者の責任

理事者の責任は、学校法人会計基準（昭和46年文部省令第18号）に準拠して計算書類を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算書類を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から計算書類に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に計算書類に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、計算書類の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による計算書類の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、計算書類の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、理事者が採用した会計方針及びその適用方法並びに理事者によって行われた見積りの評価も含め全体としての計算書類の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の計算書類が、学校法人会計基準（昭和46年文部省令第18号）に準拠して、学校法人八商学園の平成26年3月31日をもって終了する会計年度の経営の状況及び同日現在の財政状態をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

学校法人と当監査又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上